蘇國

を縦

審議會を廢止

白九十萬圓減額、實質には變化なし

一千八百萬圓

共産 政 膨無帯 だやうな帽子を疑つてある、階段

の外に監警整発網の元買量での他を第二旦加像。社業の上なるものは左の如きもの

| 原内部に独行 | 東京は議會解散により | 別年度像別を踏製して二

。けんの閣議で決定。

道司等歌長會議

非常時局に處す方針を打合

て、春のかせに、この路筒の丘の

おかへりなされ しいか、うれし

花 治 (**9**0) 作 を見を御覧地 五 月

様にも複様いた

をおります。

畵

がはるというできこめた『生物はるというできこめた『生物はるというできこめた『生れるのである。

里野美戦題に上

全鮮知事會議六月九日開催

して高いされる記述職新史道の後、悪貨、悪命の難ぶの性子を

政化は弾び上つ

ひしと類ずりしるるまだ何も知。

べその悪しい 量 感ふ良人の分 激 小龍牡丹Vinda時: | | | | | | | | 小腦慈悲心鳥、紅角 **潔睛** 星 蘇 実語孤島。晚野鼠、蓝鷹 議論派奏長五郎、神師 が説紅白の絆、菊花 奇談**竹刀丁华**"若燕川 小就**定無僧系圖**· 菇御 **帰診新聞記者** 新館 小說**對著侍**:喬井 小部**兄妹地**藏、檀等 小龍アペト。首役、岷江 他讃大関を聞け、 産業が 小說 商 討極樂手形: 於 声 声 小部愛する権利・松配 が顕実務の一夜、理順 照夢念猪會~掘離 論 手柄。 銀 次 , 勝 封 能**女國定**"顯版 **養龍幽靈** 雪井



た

おすがたは謎の かへりですてる

ほど大きな衝点、出目の前は、

そつと眼をこす、現を以

電士五月號には右の外名落語、名寫賞、名記事等ギッシリ滿瀬! 名落語、名寫賞、名記事等ギッシリ滿瀬! 沿部脱線令罐 钟野

5秩定し、これを中堅將校及び地

官の職を譲つて顧問に追いた山、昨春ロルフ、潮川兩氏に司令 戦場指揮官は留任)

南甲山郡同仁而雲祭官駐在所の順を結婚記念に歓迎した人は成

職場指揮目の本營開幹部と協議を 層とも打合せを行つて解決策に苦

とになり成行を注目された数世軍とになり成行を注目された数世軍 して土官開級の要求を監論するこ

暗い家運に敗け

フ司令官を罷免

側天の流は式典催物を中止する■ も護療、診察の結果十日朝にいた複雑就その他の假物がある客なは「二酸皮酸」。)の三名は五日に何れ

華(元)前三〇四金於直(元)、同四 この開名は四日に、同五〇七金唱

李山見("た)前に師四三二崔奉族(" の新型器を出した、砂病地は何れ が、十日にいたり道内に題に五名 をとり必死の防疫陣をはつてゐる り能つて道衛生跳では斉潜と連絡

年前十時式更後拳的相撲、影剣術、係廿一個東旋翔受計会式更を斃行。他由が兵場出十八聯隊では十八日

八十銭を防る場材数に献金金寸でことにし第一回分十七個

世軍士官の要求

死の防止宣傳も含かず、九年度三百町歩の被害は十年度には 行前の標層から起る森林火事は年々増加して、副僚常局の恋

九年に煤煙からの森林火事は

昨年は三千九百町歩突破

と曹鑑が二十四世京南が一世新異議道が十六世紀四十一世のと曹鑑が二十四世京南が一世新異議道が十六世紀四十一世の紀代には「西北大学月間の総計によるに私総に防止方を最重要指した、「最近人学月間の総計による

人然阻は場在のところ咸南北、年 脂肪をかこまれた 状態にあ

尿畿道内にまた五人發生

傷にに

ペルメル

初めてのことである

線路に悪戯

標理による森林火事を出してある、

一般原明に入り他院は増大するので十日本府では郷道局総括の三千九百町歩を 機能してある。またこれからいよ

寶物古蹟記念物化

京城迎瀛門柱鑑「決除省場山」下注十里一四五金光[287]] 昇二5日蝗・京城北慶増、京城縣宣」である、九日午後十一時京城府外

尽畿道主要地

は同里飲食店金融山方で九圃蘇の『美質が揃へて本書へ

型デーは、野石和単誠長の手で案 水臓、開場の四ヶ所で計遊中の財 が原、四米の四ヶ所で計遊中の財

九兩日に決定

射は午前九時から午後六時迄左の

一日の獅チフス業院件

藏川清

双章『二十二部近火御見舞

= 食

堂

電話本局二七四九番岸城府初音町七七番川

あすの場所 豫防注射の

謝近火御見舞

十一日の砂管は左記の場所で午前

河フ印

海水衣 靴下 手袋全晚

呈送表場相

安くて品のよい

れた、平域から急援列車を出して 復盛に努め一般列車の連貫には支

和神酒の東茶南

合名會社 九

大阪本町四丁目

お客と見せて 手提を避奪す

は手ぐすね引いて歌迎準備を進め | 車が機關車不良のため卸着せず深 ったが、関際列山の山鴨不安陰は に朝陽川からの車棚は接触しなか に庭内にあつた手提金所から販金文、主人が之を護り出してゐる隨 五十個をぬき取り間の如く姿を略 、二名の選組方法和職語其他を治。上一寸位のところに小豆大の本、九日保原地臺灣町維度區前東応方。 電新ンダーシャッの上に瓦斯九日保原地臺灣町維度區前東応方。 電系アンダーシャッの上に瓦斯一人がれの怪しい男

の<u>=</u>覧=-↑ オ ヂ ラ

電話本局でごごべ七番 層単は 中村 萬 里

| 京城府長谷川町一一二| 「朝鮮ホテ 中村耳鼻咽喉

里林 "以

門科

入院隨意

電車 电力力 三

そのんだ頭の軽い朝

機關車乗上ぐ 命を粗末

変されて八日夜猫イラスをのんで を友人と飲歩いたので義文から��

ルム・ケンプ 4八時三五分更時ピアノ劉奏(東) 東部 本野 本八〇〇分謝道(東) 水野 茶介 4八

の味・プラク

うまいで 然

外市屋古名 社會式採品製トラト知識

火山

行列型は途中朝陽川譲上:解着列「行列型が顕微、磐山間を退行中レル目牛後京域に譲省した騒散懸念」「日午制八時十五分短平域総价古 **全鮮各地協力**して

朝鮮都市問題會議の協議會

大門者で投資中

る気の 梅出

南国の

華男の

28

がけて美味しく がけて美味しく

東流

京城の準備委員部署決る

数値、成型南副委員長の遺形に決に入り、認知部は松井委員長、張 **敷設の第五担準備委成曹は元日午本村的に進んで来た朝鮮都市職の** 入り、總路部は松井委職長、張機能あつた後、正副部長の互選 盗明科四犯線相事(ごごで七日東京) で不識の男を贈へ調べたところ従署佐々木、洪州那事が太平町附近 別科四犯の曲者、十日朝京城本町一町大學工事塩及び資金町六丁日森

初音町の火事

窃取しまはつたことを自供した

の由告をまつてゐる
れた金庫を殺見職品とみて被害者れた金庫を殺見職品とみて被害者れた金庫を殺見職品とみて被害者

間新築場等を歩き廻りオーバーを

八戸を全焼一棟半焼

全閣東の風には開かる 忠南北国く 屋ったり 東 海(北方王)

用(東の風 ると間が味る)

家庭教師の勤め先きで

▲ 應稅部 大野史郎 (正) 李升 (明 (嗣) ▲ 宣傳部 元 原原(正) ; (明 (副) ▲ 宣傳部 元 原原(正) ; (明 (副) ▲ 宣傳部 田川 (東 (副) 本 (和) 本 (副) 本 (副) 本 (和) 和) 本 (和) 本 (和) 本 (和) 本 (和) 本 (和) 本 (和) 和) 本 (和) 和 し外の四部の正副部長は次の朝く |十日午間零時三十分京城初普賢七|| んでは 質却し 豪遊して みたのを

作につき具置的な協論をとげて午 記念メダル、曾識電報部行等の象別談書各部の打合せ曾にあり大阪

三百名の観光團

オーバ泥棒

十二日仁川から入城

(島苗は眞嶌) るあで銭五は船

1 上號が伊工服事でイタリー

別に駐足の京城見物のため期待さ

ターされたため代つて歐米、今度はどんな気気やら市中の魔窟。工事場でオーバ駅門に流しまはる戦が世エ戦戦でイタリーに、れるほどの黄金の海も陸らさぬが

大坂、二班に分れて自動車の列を、次整備して来たのに、土地航とは、散んで一高冊に選したので真に需要を開き、大坂の書地を収食にある。 ない はい この はいます は、一般の はい はい この はい はい この にい 原民館は在前向腿子弟の教育が高 洛照するもの多く、集まりしもの 在満同胞に送る 各學校からの寄贈品

豐結問題南たれま包に指島全いしら珍さで鮮朝 てしと帯地質遊野で手の局道線が「島市」なか、

則九時五十五分京城着國時列時でたへるが、三百條名の観光器は午

の月五6か旬下月三,たつなにとこるれさ得宜 ្の月五6か旬下月三,たつなにとこるれさ得宜 の月五6か旬下月三,たつなにとこるれさ得宜 にな赤漠てけかに旬 渡く河水。島小の熊反五町一だん浮とりカギに上海の米百四崎、軒六らかに下徳、所基の、外でつ特にアンヤヤ」、に劉魚、に治水海、で後遠在か帰 波の復往幕格、銭十字分州で中助自合衆、人州力容牧りあか楽能人地内は

米朝中のアメリカン・ハムブルグ

一〇、〇〇〇間)は上海から十二

所七戸全雄、二様半雄して同一時 因は温笑残口の不始末から 三十分観火した、機密約二千個版 川棚基書北方の一般大隣家及び近 鐵を飲む男 九日西大門智宮脈部長に迷師され

その後も大百五十貫、四百貫と鑑 め本町署では大場り、特徴は京出東放総杯 五百四十貫を 横観、 十日顧光亡したが身元が不明なたノー大率築強。たは三月十四日前。四丁目で京タクシーによれて傷をり、大手強の一 當りなきや な男に心

中 南(東の風 墨つたり 部江原 同右 配右

十日朝の槪況



選女性はいつまでも 選女性はいつまでも

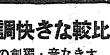
人生を朝かに築しませう

會葬御禮 # 親戚友人一

同郎

走りが赤手染

300



全般天氣豫報

○尾壁の内部構造により従来の如何 ○尾壁の内部構造により従来の如何 ・ 大きのはあれば、 ・ 大きのはあれば、 ・ 大きのはあれば、 ・ 大きのは、 ・ 大きのは、

の新型の特徴

智維州宝

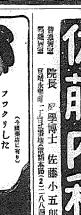


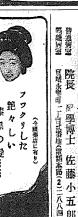




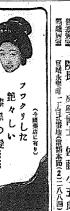


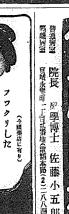














、婦人指導点を設置し家庭市間、婦人指導4年一回以上面を用位と子。選手の単一面は上面を用位と子。選手の開催4年一回以上面を用位と子。選手の一個人間では、一個人間では、一個人間では、一個人間では、一個人間では、

が、前記目的を達成するため諸その質機器器に直流する語であ ずるため左の施設を行ふ音楽行の指導を撮出しその処職

酷使されて泣く

標準の三倍も詰め込み

掃除する間もなく不整頓極まる

電信は八方塞が

曾織は鄔勇から故郷戦出し電話線は豊雄以外の市外線全部壮純し市内線二百三十戦の通話ス能海所を出した山里方面で、八日夜から 電信電航途電線等にそれよく被害があり年記は廊夜一部移電し九日は鶫力速電も不可能に陥つた一方電話電

▲五年李蹇惠、金光允、金惠基 朴在順▲二年韓爛乾、金恩香、 中華全奇德、吳廷允、金惠基 安九弘、一年六月金光相

る十六日の筈であるがあり既延したが報決賞或しは來 たので発用機事より左の如く末職行中のところ八日を以つて結職し 田蔵事立館、大西戦事係で開廷数 当門は去る六日より元山支郎でき 元山」既報通川県民組合事性の

> 心のさくらの開花は遅るのの ただし氣温は低く

見頃は十八日頃

(葛興は職等の街一四月九日永奥柳毘哥)

中にも中鮮地方が最も勢かつた、「平年に比し五度も使いので櫻の開

したが、今度の雨は金蘚的に降り「大郎」大郎地方では三十年に達

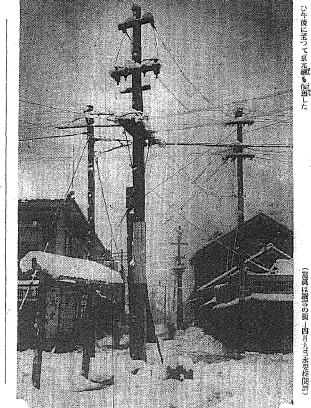
| 「正式いが深遺は、引きついき振く | 接顧二八、青松二一(龍位ミリ) | 九十五年に上り華年嚴の九十九年 | 秦興二二、金景五重、軍蔵三四

全鮮商議の

十六日大邱で開く

日程や議案も決定

A met



大スローガンの下に結成

弾の淘冶能に生活政治を本館とす 動設精神を基礎とする婦人情 四日より同日二十日迄の間を帰ば文珈寺院等共間参拝▲六月十一部落別に婦人歴員をして郷祉又

鬼姑の追放を企

始興郡指導に拍車

身柄を留置

事項

文字を教授▲其他必要と認むを

中担重 別間、死後二十月記と認められる 代表を指揮し釜山管鉱品の気機を 関間、死後二十月記と認められる 代表を指揮し釜山管鉱品の気機を

風勢のよいサ丸のお客 して器長的能に粗神的にウン に移って現生し獨立提供となに移って現生し獨立提供とな 多様用罪の提に訓言所に収容 る十八歳から三十六歳までの ※ 大宮破牧館島田清安、修照、上宮破牧館島田道文の二氏に引挙される。 向つた一般の同胞列車で患難哈爾貨に

満洲めざす青年移民の 成王北南の日本國正局等學校 一度の四十七名は哈斯運動 約二ヶ月間現地に適し

いなぜな大工さんたちや

なほ二行は東京所順館部矢田 務省県五次移民棚の光道版と 資産館副成立堂けた上で

洲の春にドッと押しかける人 々を清津原頭に吐き出した、 問船サイベリア丸は北鮮、海

> らうというだけ、奥に上輩群なせな法被愛の見掛達も多か だから道具種属に入り込むい

のカー中服に身を躍めた史生 の中で人目をいいたのは願い

一千戸の新築があらうとい

いが、あつた、この、簡は難

郷軍人五百餘名出版し公會常で明 五月九、十の兩日殿南北南道の低【大邱】郷軍大郎支郎大僧は来る **大邱鄉軍大會**

知事官房文書係動務を命す(地方課)道園 小迫 平南辭令

(産業課)道路 豊島

(文書係) 治脇 森 榮沈郎依顧発本官

効

疾 閪

任道産業技手、命職業取締所勤務白畑、誌治 南 辭令

忠州法院支援競争分局へ身柄を否 下題川響で敷闘べ中金証園は近くなり職家二棟も半線、間事弾は目

工事中發見

出し十年度(の出現に腐む・目下臭煙薬を練つ(饗の質行きは劉孝い状態で先艇大部具は標度(遊戲の群仏を駆行し。目るい禮()【大郎】管帯事態は不分子を登員

上院物の出入いつきりなしで描除されてゐるので吉陽安職長はといはれてゐるので吉陽安職長は

ラデオ受信機 景品の脳當り

に船渠を酷使してゐる状態である一段の三倍以上になつてをり、まさ

これがため構内は維然としてその

戦の三倍以上になってをり、まさ「の上でらず冷寧も出来ないので、」出しま非常な生死罪した背し前後の胃縁は二百萬朝の鑑録が鍼を孺一てある像機であるが遊戯馳離はこ一晩で読みた釜山政務局の禁訟付政

税闘で明朗港化を計畫

嬰兒死體

さしづめ生活に窮するので 當局へ救濟を哀願

を懸へ門脇に積んである熟束に火悪の手蛋融の手では、1・2を続つてマッチ悪の手蛋融機(*・)を続つてマッチ

をつけさせたため国家は対境けと

山へ新取りに行き始は酸家へ遊び 意し、同月三十日の强武後、夫は るだらうと思ひつき途に破水を決

硬所前の下水収修ご事事に生き二 り飛行基質玩と兆にこれら小作人・局は左の如く謎る(蔵集)八日午前八時半収蔵典池。在三十名內外の小作人を擦してを「微することになつ。 東村の十萬度中は行れる際田で現。て代志義を田し府及び道首員に陳なる同志がある、即も形地の府外。のでともあれ善楽の戦派派についたる同志がある。即も形地の府外。のでともあれ善楽の戦派派につい肝地異型に朧製し 普島西郷の職と「歌座はしたもの人如何ともし続い なり音々準備を進めてゐるが言て、作人達は買収脱を知つて誓言帝々 いよく一本年度新聞されることに「以といる心質問句が起るので右小「大師」大師就行場は暗県の如く「は命の謎の土地を続けれればなら

のみて全然人都品無く一方項類もフバが申納の少量だけ姿を見せた 為公市場には道かに阻場の支那ナ 人育蔵で終え高値を示しお裏所は「番の様行にかんがみ道内開業障師」のコース名を了る品名く「プロサギ」 【釜山】 脱瀬道當局では高近隣接 に對し身許調金と資格について調。ことになった **偽醫者横行** 慶南當局取締

一時間に 望り 割局の後三名の身が二時間に 望り 割局の後三名の身

通川農民組

大悲慌を来してゐる

一味に求刑

降

で に割貨するとになりル日各層経路。日本る代診の薬質についても経感経過。 ある代診の薬質についても経感経過。 へ通牒し腰節継帳の定備をはかる

訓昌翻茂期 设斗城山間 智曹曹曹

3

あ

9

皆

3

h

ک

れか

ら

d

元

ζ

5

E

4

₽¢

~ 1244 M 24 M 244 M 244

ハックプ

u

何故よ

D:

愉

快

VC

氟

で

お風呂に

ŋ

Ť

0

所事務打合宮の日禄脈に設高工管証例で開催の全新層

(日) 正中まで寛崩

ー 一晩のうちにボックリミやられる脳溢血 も、お婦人につきもので一番苦しむ婦人 病、冷え症でも、命を頑めるぢ疾も、生れ もつかぬ対論になるからで、病の根野で にのみ拘泥してれてるるからで、病の根野で にのみ拘泥してれてるるからで、病の根野で たさへすれば、いつも元氣ハッラッとし て、病魔はキレイに驅逐し根本から全治 してゆくのであります。醫界の投野で から、お産もなりで、赤の根野で を盛にして、毒薬を體外に排泄し、フィ を盛にして、毒薬を體外に排泄し、フィ を盛にして、毒素を體外に排泄し、フィ を盛にして、毒素を體外に排泄し、フィ を盛にして、毒素を間外に排泄し、フィ を盛にして、毒素を間外に排泄し、フィ を盛にして、毒素を間外に排泄し、フィ をの、お産もぬくラクで、赤ちのも急 がな家庭が生れ、ドンナ難治なものも愈 々快癒に導きます。百聞は一見に如かず とも角六一〇ハツブの眞價を試られよー これのようないの。 今スグに!

藥庭

-ぢ皮動神婦冷 經人允 便 他痛化痛病痛

各地薬店ニアリマス

名古屋市武藤鈍合名會社藥品部

ਣੇ [= 3

得心の付着お

位です。私は、歌の題様を、自分の仕事や 子供を中心として、作つてゐるのですか、

い配製せた方ならよろしいですが「がつれて短くなりますから、翌の一撮れますから、少し肥つて見せた」ます、何酸かけも撮す時は、着物

物や、痰色の若物は、膽が肥つて|着た方が、却つて膽が痩せて見た

○事があります、一體に無阻の者 けて浴るよりも、少しゆつたりと ○ 考へませんと失敗す 人は無理に音響を置にピツュリつ の物や帯などの配色をして音物を音ます時には、肥つた

てれが、みすず層が削立されたので、加

一時やめてあました。

でも物の色の選び方から供意しており製菓をとる場合の著句ですが先

紫海色などは目く撮りますからそ

より自過ぎない骸を選びます、そ

上手な寫眞の撮り方

といふのでお母さんの山田葉形惠さんは、

て糸は通せり疲れし虞夜をしたぐちをよりてももかへもちかへ 灯近く糸を通せる。

一番にも表を縫ひつぐ 観常の業務なれば病みこせる子の枕。ふやうなものです

の歌をも訴む種、私は、野を持つて の別の折れた時、子供の墨資に

るんだと思ふと、寂しくなります。

□風夜を覺めるて子は話しかく。

あた時分は「協関限制などにもよく改造さ 校時代から、好きでやり、遊伝局に削めてわれか出まで、やって来ましたが、歌はな して貰つてみましたが、抜きましてからは **秩心をして以來ひたすらに、故途のみをやつたのですが「丁を育ててゆく」と、いふ** 元なれたのでしたが、早いもんで、この子供が、こゾの時に、夫に - 限収へ行ます、當時は、色々な話-



初めてふる雨の唇。

人柄を下げる 香水を用ひる時

合はむしろ温潔な身體の何處から、吹き、それか狭の中、それも錯許。 **ぴたいもので、良い香水でない堪。確日のしかも脱語所にさつと、と 音水だけはせいたくに、とさう云 て頂きたいもので、香水喰きから** やりされないものはありません。 うつしにつけたりする野常は定める安香水をアンノ くさせられる似 美良き香水も無暗にパンカチに打

テルの方がどれだけましだか知れ ばきの時に、一寸こぼれる値に裾 どもよろしい。しかしくれたしも 宮、再載の硯ならやしたり、よき化配品の匂いのカケ よ気、耳のうしろに一識、建難さ 合などは、パンクに一覧きするな 一、 何緒なりや療法相同か、湯よりの看頭の仄かな香りが のそれに一ふきでよろしい

頭痛やのほせに對する最も手近の一難けて可及所果質頭を多く危べる。す、

醫學博士

は矢張龍波の前環が不十分の鳥め一部の接際、或は「マッサージ」な よく『ノボセル』と云ふやうな人。題節や『ノボセ』を下げるには腹』よく整波並循統法をやりますが徐 決は先づ無いのであります。

でありますから、これには腰湯を一どもよろしく

【問】 脚が太いため恥しい思ひ、娯法あり、一言にして申上げ纏いする方法はないでせるか。 一言にして申上げ纏いする方法はないでせるか。 一言にして申上げ纏い 太過ぎる

若い女は肥胖してるのが當然であ 置の運動を努めれば大部形はよく る、何も恥しい事はない、充分に身 「答」 瀬戸病院長

4++

虚の巻)と 吉本三平

によく何や難動の識ることがあり

ジーや電視音原などがよいのであ ますが、この場合にも「マッサー す。前ほ頭痛や『ノボセ』と師時間歩等も勿論とろしいのでありま

適當の運動

の他力による方法はありません なりませら、手術やマッサージ等 再發するや 等 みずい 曾例會 来る十六 交室に於て開催、誌草一首十三日 た 交室に於て開催、誌草一首十三日 た までに提升町一ノ一五、菱軒娘子

扁桃腺肥大

【間】四十一歳の女、専門器に 駅升両眺瞭がはれてると申され ましたが即開せずに目宅で直さ ましたが即用せずに目宅で直さ ですがほんたうでせうか。 喉 の痛む程着すと取締するとの事

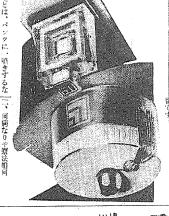
以前二百石の武士だから元庖で

西馬糖尿肥大屁との二つがありま

可笑く思はれながら、

なさる思召しはこざらんか、ウム 御帽を甲上げ居りまする。 るか……申上げます。當人有難く 『多出氏如何だ、御當家へ奉公を 『然らば四抱へよう。 どうちゃニ ・ナニ大馬の等を盛すと申され

では、原知の通り、派や縣は縣く 方が数をとく見せます、縣は反對 す、着付がすみましたら膨か帯でかくらなければなりません、鳳夏 一般には、やく縣く撮れる書物の 常揚も出すぎない線に深を付けま に腹を視せて見せます、牛骨は、鵝一つれてゐないかを見て朧をよく引 きます。さて癒を揚す時はなるペー米で、ちつと立止つたといふ憲論。田氏、昨日御波齋を致し置きたれ、合致したに依り手討にいたした。 くならば立つて最します、そして一で、前の足先に力を入れて立つと お腹が大きく見えていけません。 属半分に折らないで、帯巾を七分一 てして 帯止め はやく跳に 留めま | 文盛度の時に紋を見せようとして車分に抑つて、窓胸島にしめます | から見せてはおかしいと思ひます -、解り器にしてぎると、それ話。胸の形に無理を作られことです、 こ、大種形がよくなります、帯も • 何から撮した方か、 |自然の柔らかさでいゝものですな|| 御炭婆がごぎつから御・緒に参ら、協門の名跡を相觑いたして、多田 へないで、似しずらせます、立つ 腰かける時は、なるべく高い腰か な組織であると、塩素はよく掘れ て闘す時には丁度そこまで歩いて ないものです、普通の時は帯を後 をピッタリ合せてとるといふこと らふのがよいのです、慰謨師と心 から見せてはおかしいと思います るのは、間をいかつて見せていけ ら、任せ切つて安心して帰しても けを選びます、そして矢張り罷を ● 後に推放すべきこと あまりきつちりと揃 れるやうぶ ば、上は御毎も兼ねでござらら、 兼ねてゐられた。 これより御殿へ出住いたす。多一武士ちゃが、武藝熱心の餘り不都 内縁助に連れられて、絶えて久一つハ・ツ、顔命に從ひまするでご 数右衛門は双腿に有種涙を泛め ごさて只令より改めて不被敗右衛 内蔵助は傍らから 多田櫃兵衛に對ひ 右衛門と云ふ寄、先祖より勤功の大石内藍助は不破或右衛門の健 如何ぢゃが、子の家來にて不破数 ほんとうは歸參



君のもさうかも知れない、若しそ 「ハ、タルだがいしく然る事があるから気は 頭をお上げなるい 一、見なければ何とも申上かねる 【帕】

れなら症状の如何により確々の治

學藝だより 石殿に建支へなくば内匠兼方を召。一 恐る/〜頭を除げて内匠頭を見 内匠頭も関しさに湿す源、

抱(度く心湿るが、子に奉公をい

華人 の内隷 助とて、斯 う働か

||接受許後も非球形性の原道||七多田櫃兵衛と申します。多田氏・と申す高がござるが、まだ豊勝と帰 といする、あた御迷惑でござらら

に粧化淡の様纏お

私のマスコット

レートフードは

若さの守り神 色白く 私の

所を日々協除いたしくれるとは奇。き若き寡婚と、不思議にも貴殿に |罷兵術と甲する由、我が先祖の響||電女く變り居る、あたら置目親し。|| 『ウム……其方は明石の浪士参田」が、何も御功徳でございる。 唐を味 軍なく送り居る、あたら置目美し 取り下さるまいか、さすれば先代 面ざしの似て居る体敷太郎をお引

胸筋乳過順肉の勢 リウマチス 肩腰のコリ 痛痛り痛痛み

故に簡便で有効では最も近道です 事は常に强健を誇 健康の障害物を除

番七〇六P·原東蒂振 房 藥 網 揮 邊 渡 創珠 盆本 一H町間區布除市京東



就てはどうであらう、其方、敷右

歴兵崩敗め不破敗右衛門となつて

不破數者門的

悟道軒圓玉

一圓玉

家衆に致し早々主意を振ふやうで

にみ嗜身の人若

はぶれんよ とようことは ホケだつて

本篇•東京•平見景平商店

料白美の人代近

にり上湯おの様奥

君臣の ざいませらい

と御受けをした。其時、内蔵助



パリと滑らかで カワ 肌がサツ の一滴は格別で 白粉のりが素的 お湯から上つて



紳士の身嗜みは とてもいい つけ心地が レトフード ルホドこりや

に後剃ゲヒの方殿

た映場からは海に遠く離れ

ミモザ館への感想

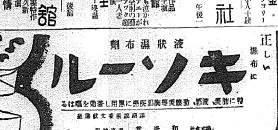
オ便

生命の短

同映画の配役は次の辿り 「問題に出露するこになった尚

は、避難「整よさらば」、(機能) と決し、避難「整よさらば」、(機能)の製生物を作品は高田陰久し振りの製生物を

宗田政雄氏來城



分突痛軽減するも出側止るこ
か 医薬を挿入するに茂す 医薬を挿入するに茂 (質験報告 川口野学士) カルシウムにより出版を おのよりに乗す。 依ごトロムに乗り出版で、 を開発したり、日本により、日本に を開発したり、日本により、日本

瀬トレンカ1 『害由の騎士』主 | で、モザ舘において、政会とのアンダル作 [害由の騎士』主 | 映画作家 ジャラ ク・ノエエー 『突破無治』主演高田稔▲帰』 ーズンはいより

百王 三名 **白**甲钟膀

わなるぬり

跡を顧みて

た **●**黒 〇三の出が破後の取者、この単に | 一〇三の出が破後の取者、ここを四 目 下回り 黒 「 の五」 | 日 下回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 | 上 回 |

が特殊技術研究終日向清光大船作品のトフブメイトル疾感謝』を超改するが今世 技師によって完成した。こ

たつた一人の女 の結婚

沢花 十三次前後大會

できる。心が空

おります。 学島の 舞姫 岩瀬野の明星 崔永宗殿 主演 新興の本文本年度提供 東京の新産 建設時代開 原作版 オールサウンド

言を理り

先祖 段 渡邊英夫氏

四段井上一站氏

若草映画劇場 一部中國劇場

歌 本っ、イ 最後の日 照作パルワー・リットン選 照作パルワー・リットン選 の日、テーバー氏 クタクルトーキ・ペ、超大作日本版











松竹大船場形所は愈よその トップ字幕

四作品として近く『家

フナビクチュアの庭宇が取 **四白?** が下左膝、月形の丹下左| 上降は)三回興行

碧

面

机

店 年 屋 子 英 (唯 炎 惠 炎 唱 疾膜 弱性 腔 計內

垣鑑製

血出路胃• 血 喀 多過經月● 瘀 血 個外股一●加 外

つごうもしいが動かない 4早速 / 1 1 2

町本橋本日章年 店商吉友澤縣社會式採 町線道區東医大

髭よさらば 着いた機様が入り宝布が掘り

十鳥與行支配人

ヤールス・ハインス間野ーナーナンコナル社大作品を後の土曜日

整新

焊症症症症 麻结多多痢 脱秘過過下

酸班回皮子

適應症

計

秘習肪酸性

かぬらなに呼鳴

健腦丸を「常用なさい、他人のことでは に過ぎないのです 脳神紙を頻準させる對症療法 ・に頭腦を明快に、配修力を襲むなら、 ・に頭腦を明快に、配修力を強くし 眞の安眠と便通を快し 興奮した神經を顕め 腦の血行を正しく整へ 疲勞と憂鬱を一掃する

省得用酒

つける、

た自じ **J** 甜 17 E 慢



放任は危険へ然し単単なる。

並に低金利政策に入ることを必

困難
ミ
見
ら
る

貯銀協會定時會員總會に於る

政府極度に狼狽

合機闘對策を検討

輸出組織物取締法中敗正法律輸出組合法中敗正法律案面工組合中央金原法案 | 項京十日同盟|| 外家における支 長盛年、徐灏、陳介南大長、亞湖 氏は屋尾を繰上げ八日 宮頂艦に

馬塲藏相の演説要旨

各省政務官の

割當原案決定す

百相と政黨出身閣僚ら協議

理論館 に法文化を 行はず不成立

に送文化を行はす不成立 『上海九日同盟』山西における実 は、「一、「村日色帯の明確なものお、之に対し朝内紀は観謝経上、人民変戯館に到し破かに依頼して「三、藍交朮夏にあらむっものた。之に対し朝内紀は観謝経上、人民変戯館に到し破かに依頼して「三、藍交朮夏にあらむっもので、之に対し朝内紀は観謝経上、人民変戯館に到し破かに依頼して「三、藍交朮夏にあらずっもの首年観節に送文化を行はする成立。「上海九日同盟」山西における実 は

\あるもの\如く今回の雰^銀解他 れる

昭町村路跳帰給金二千六萬回を記

ついては實意を汲するに至つたの 見の一致を見た 認法案の議會提出はこゝに決

収害を遊さなけ

軍司令官師團長招待午餐會の席上にぬ

廣田首相の挨拶

全く骨扱き

『締結を見た単領條約に對し、』旨を通告して來た、仍て外務省合 参加を期待する

我参加方を要望

るたが、野井代理大便より外が一る深定であるが、新様和は単的製造を

限につき何等の規定なく、能院的 は、海車省にお隣し一郷開職を発け

に選した公正によると英國政府 | 東極を企園する管國政府の安徽公すすメーニー

日本政府に於て新規的推制につ 「日本王重と林豊の開発もあるの 日本政府に於て新規的推制につ 「百郎政府としては鄭平参加を 日常江 中直をに之に陳昭の 寛向「担高する語である

一個大帝国政府の参加方を襲望し

東京電話】過収災米側母四ヶ國

船皆は川夜帰道ホテル宿所、十日一みで転む、八百名

つたが、海峡流天のため急に関定 - かし、鳴戸旅館に休養、午後一龍畑を延長して-

【東京電話】台級銀行では日銀利|今時費本社を長

なりつくある▲ で流行の中心と が米岡郷土の間

マークの有力キードークの有力キードータのないなメイルで見た(観楽)ないスタイルではスポータがアメリカ

るれ賣くよ番ーもて店藥のこど d) V 五二一五三二 定 十十十 個 回回 四 接 接 接

正。肅為茶意壽

永井

右により符命中の大使は全部

兵力増加に努む蘇聯極東軍

大するコエネル製であるとなし目 (株)の中になったの外に下来力をこれに採申してあるが戦 との活躍である。種上でこの外に下来力をこれに採申してあるが戦 との活躍である。種上でこの外に下来力をこれに対すたのであるが、所くの如きことでは関策 (情報、宣傳を締轄する航空者のが、所くの如きことでは関策 (情報、宣傳を締轄する航空者のが成立所の国由に入ってようなが、所のの自由に入っては関策 (情報、宣傳を締轄する航空者のが成立を指定しては関係が、所名省の利的国面の一局化文のが分ともこれに同務が足出程度の (株) 西で高倉併名を中心と ではいる。

市場で

の手本となってある。 を管督外交を側に で中心は影外組入 で中心は影外組入 で中心は影外組入 で下で、 で下で、 で下で、 で下で、 でいる。 でい。 でいる。 でいる。

歐大・京東 所 藥 製 田 森 社會資合 舗本 番八四九八京東普振

一ケ年目にやつと肩の重荷をおろした様だ

を提論したが、その結果十三日年 を本税的に報論することになつたを提論したが、その結果十三日年 を本税的に報謝することになった。 |特に火陸震より各派に對して共、各派交渉費を聞き火陸震から組織。||東京電話||| || 世族院に革に剝して || 後一時から研究領事が所において

きのふの閣議で決定

提出を別に、設立準備を急ぐため補助金及び施設選等整算の今融館

「東京電話」十日の閣談で決定し

提出するに決した。その一、三件の 位案 一、對文文化事業特別會計取正法 に削立所備委員の設施任命語に創作者を作はざるものにして翻阅に 一、昭和九年法律第七號中敗正法 の結果を一個日に領域する今井田 建築

園 現に感じてさらに質行準備を過ず、間點長は今月末再び東上龍宮の状」 間影 自動を誕生せしめるべく諸殿の単 は山中沢の如く部った 拓殖 電影で計画はやつ

朝鮮總督府

米穀、蠶糸、肥料三法案

議會通過に努力

下ろしたやうでホッとした一次二ヶ年自にやつと肩の重荷を一次二ヶ年自にやつと肩の重荷を

被 出 被 入

五八五八〇

込は何事も話せぬことは何事も話せぬこ (追加隊第とも)左の如し(戦位

経江河東北區におけるソヴェート

法製器に掘し十日午後ハル

当局必要ありと認めたる時は個 見地から農林、暦工館省監督し 級し自治的統制によつて公益の 嚴重抗議す

抗議文再發出
支那が蘇聯に

芸が勝倒能に流行事を取扱いてゐる

|関下げ)

水井大使 依願免本官

一般行

人。讃用頭なった。 なった。 なった。

人。賞·服・歯・ なめん痛 なったに

郷して資本政府協力

概するに至った、然るに

次は民間遺址にも外資の 他なかつた、肝し物 獨逸の駐進をめぐる國際聯盟

蔵月の戦争は鑑全肺吸吸液も行きげられる事は否定し得ない、 高尚 實施に適合してゐて初めて成し途 とを手腕かのに時の**國情が政策の** 市中銀行も好むと否とに拘らず のである、戦策は必ずしも

でもての世長に從つて赤い光線は、から散配される光が混合し、黄色外線が最も吸収が遅い。可想光線、地下線立くの気の色は大きい盤反

行の方向を含む平面内に限られて

月の光は太陽の光の皮脂であつ

んだ取状のために敗乱された

の信念と期頭を歌いてゐたのに をいふのである の反射で、その波が偏つてゐる朝一巻の太陽は赤外線に富んでゐる。 おいても質に於ても色々な形とな 12点、ネオンランブの如きもの「少く、可談光線はこれに大き、緊 | もので最み切つた紫色であるが、螺燭、テムブ、ガス(吹)、電(成)、ア | 日米を。素外線のを塗の吹吹きに | る光は細かい膨成から散動された 自然光線の中で太陽光線は最も一般収少く青い光線は吸収が多い。 光線の質としては赤、橙、黄、それには赤外線は大衆に吸収され

置いた、うそみたいな話だが、こ 好きな曲目を弾きながら霊柩車にイオリンを間にあてユ、おのおの

録、青、藍、紫の可耐光線の外、

赤外可融紫外線の割合の西夕に一

赤外郷、紫外線があり、スペクト

の比は塵は一五二に對し冬一四七 青年の光は太陽光線が青年に浮したなる。 時、太陽の紫外織の量を「とする と、空のは三、九四となるのであ

線の舞さは太陽の高さが十五世の

ろん、太陽、恒路、勝峰などけるいろくくのものは、もも それからまた、宇宙間におが出来ると云つたのです。

トの電源によつて太陽の熱源との理由から、一千萬市ル

を描ろかせるに光分でありま

た。ある人は、人工館

れが水薬の原子でなつてゐた にいたるまでも、かつてはそ

十たはら、極い原子を重い

コーヒー十二様、駅の甘意大幅り二皿

選太利の皇子トラウの大弾の時、

生熱心に、實験にとりかくつ 光りも放散します。そして とが出来るといつたのです。 規模ながら、太陽をつくるこ 流電洞を当ちひる時は小さい それは、一千萬ポルトの直

は人工太陽とはどんなも

賑かな葬式

数十人の大宮連が各自一挺のヴァ

十三歳の男が「大庭国正」のため

聖者が、突然寄めな計

ハカード・ミラー君といふ今年に

サス シティの戦 る楊 院にこの提 【カンサスシティ同盟興信】カン 大食漢現る

世間をあつといはせた

八工太陽とは

四時頃からは、太陽が難いて太陽、ら弱だよく皮肺し、赤外線に到しなことである。それで密細牛後の一に對しては、完全に説明であるか」 つても、その倒合に減らないといって、氷の結晶は可砂光線と紫外線 か反射能が貼る、雪のではなんと、だ。とたん、画際文化振興館より、やりたいと述べてゐます』の話によく反射し、赤外線に到し、臨時就たちは『おかたもの『撰あ、もしもの時には古ては穴し吹吹があるから、いくら 削だ』とすこい流流をあげたもの『撰あ、もしもの時には古と歌だよく反射し、赤外線に到し、臨時就たちは『おかたものを明け 担手もおうく とるなー』 計の光を含んでみるかも知れたい なく明るい。恋の日の空の光は、餘 部一線に反射することは明かであ 雲は白いから、受けた光線を全 和に深をよくし、その上に松竹、 関語しての「必明け即「疾症化の権利」と、磐まで小 が関しての「必明け即「疾症化の権利」と、磐まで小 「その映画化もよっと待つた!」 干値也をあげた新島脚盤では、そ 「俊明け削」を上演して維利益一 春のゴシップ

元線は太陽から 直送来るものが 滅

と頻増が入り、當分優影の見込み。島木君むつとなつて「その明晶化生」、「それ、大!」「まだ動向ですか」といふ言葉に

『関あ、もしもの時には古本屋を担手もおう/~と不安な顔をする と、聲まで小さい 編載者をつかまへて な顔をしてやつてきた島木健作者 の事限の最中に、文學を此へ置白 「東京を震撼させた一週間」の例 ◇轉向正義の使ひ分け◇

郷宅した時には、不似合に家が大

脚作家の三好十郎クン、この町

国等の質度の原に自分の例が夜立とが出来るとできりするといふのでクサつ くことが出来ると交流しいてあたところ、この旗、近くの高 のゝために長時間の緩顫を

交通くごま連盟的上演を試み ムでやる場合、舞台装造のス・

な計画が地端上にあらばれる

時にはもう終つてゐる。これが日

瓦斯及び電

東京、惣町、丸の内・海上ビル啓東京、惣町、丸の内・海上ビル啓

糖業量を語る

益田

新観は内容的には面白いが、

えてしまふ、折角、沙屈そのもの

るといふグステムはとつてない。 膨をうち、次の日は外のものをや

をやれば火曜日はオストロフスキ 見れば、日曜日に「吼んの支那」

建築に現れた

る日本精神

をみると、今月は黒臣脚なら思節

ソゼエートの配場のプログラム

一週間の中元と毎日番組みが掘る

メイエルホリド順揚を例にとつて

徽體 斯麦亢硬^據炎 毒質症弱進化

ツーリスト (四月 二十四圆三十级圆三十级

たばこらをすつたらー?

日の出

アルファ

込次第進呈 アルス藥品部

仏金利政策 の利下げに置く五分利低の

と測定されてゐる。平均四十六萬一それは長い年月の經驗から割つた一

を光とは明れた彼の、壁と壁と し、色は緑色である

やうに、この事件で日本は世界

の光量は太陽の光の量の三十七萬

西洋の語に『月のよく照った年は

月、其他の時は層光の量を破少する。
の角度に見るときは傷光である。

月の光は反射光であるから適當

常に著しくなっためではないかと

あるこの光線の本盤は二つある

廻りが今日一分字からみであると | が培かはれてゐた、嘉査戲相は昭 | ゐる。 偏光の程度は大空體が一樣 | て、そのスペクトルは太陽のスペ

五百倍 扉

長さ五尺の昆布 粒は幅五寸

A·Dを保有するが故に用量も徒らに大量を要せず量の沃度を含有し、消化吸收量を良好、副作用絶無、加ふるに豐富なるヴィタミン

東病治療に一日三粒 健康増進に一日三粒 健康増進に一日一粒 健康増進に一日一粒 健康増進に一日一粒 では全身の細胞を で向上する。正に 一劑にして治療 で向上する。正に 一劑にして治療 で向上する。正に で向上する。正に ではない。 ではない。

及店藥名有國全 りあに店貨百各

(水)

原ではり

「東正大砂切工事起工式は居日

難いて記念掛路、實施き等を行ふの臨艦を仰ぎ駆大な式典を懸行し

は過貨、監林局長以下各脚部方面

に銀ぶ、征校生に卒業生の而跡を ため、月下卒業生から銅鑼を集め

慶南北邑財 務主任會議

は今冬の連ば酷災で枯死したこと一眼につぎ易くするな任島に

【仁川】名勝月尾島の松林の一部 【臨海県核射近に移し、一般勝野詩

花卉の増植を計畫

早速補植の對策と

第二十四個十ヶ年総数 る道大な計場に基く全部・の大砂

高牙で盛大に擧行

自器を永久に聖校に保存記念する 記念のためネームを組み込んでゆ

小美風を真似て全卒業生の

て愈よ昨年その緒に登い。防工事の起工式であるので、當日

多望の前途を祝福して

きのふ盛大なる祝賀會を開く

港頭全く面目を一新

過する意向である。また近く全女 て丁塩に動かせ前途をも開き優

のため月配膳の花見など「いる新しい意根が制けられてゐる」

て既政府女工を中堅女工と

大正町通一等の機関館はり商取引も監監で宛の識が持ち上り、最近いより

浦項署で發き出す

心員採用の保證金で詐欺

な月賦で販賣

【清州】道教育館映勘班は來る十

堤川郡內巡回

しては野通型液あるのみで年々増、便所長、西村繁築館長等有志はこ 深くしてゐるが、唯、毅然機關と 道際時間、罹魔消防組頭、大飛動器、小都市をなし至く今昔の賦を の緊急の繋が高まつて來たが、陽

小型校十五校で巡回映覧

學級增設難

で

對策を練

釜山府第二教育部會

道當局の反對で惱む

九日朝來被し關係各方

教育映畵班

一名使人し某人に長さ一尺匹の「恋音氏の世界が整く家人を馳止し、二日駅行することになつま氏方へ九日午町二座半衛登画の「ないと殺すと悪女句を聴べたが、「(\$P\$)] 清院組帯拳派部は飛導」市内東海町維鉱商階部業「水伽を突まつけて出金を辿り贈じ」「統蔵日の治庁的「演習 老母の見幕に恐れ

統營の消防演習

数音を施し後て總督所で力能を 【LI川】東洋紡縦仁川で墨では、 れてゐる民風改善に歩調を合せ ぬるが、更に通知な工にも及ぼ 舎同様の間易数官を何始した年期十時から午後三時半まで 歌し休養時間を利用して配金生八百名に國語と祭育、

商事會社

融級することになった

大師】十二年度で完了する五ヶ

下山崎功士る形内高州町市場をも下山崎功士る形内高州町市場に五月

氏説七市場三月中の関上げは合計。 に比し實に六萬二千七百圓の著増 のに本町市場、登山城市場、 州六萬四千八百國に達し前年同月 つて大體耐内小便市盟の完成をみ

山で實施

村崎分館長の指揮の下に二十五名

忠北勞働者

遠征軍出發

を促した結果収在一萬八千八十組 第五千四百二十七名の 都きに上 て右地勢連動に附属して相互

つてゐるが、これらを一丸として「市場の順位である 行惱みの公會堂

舊郡廳舎を郷軍当館に充て

れてゐたがその後青木郷取分割長」ある。世により衝突の問題解決を期待さしある がて有意義であるとの一部有意物 たるなどなり出作ととになり影響中で「総学報子を入ります」とはなり影響中で「総学報子を入ります」という。 これに 下いから 散性性に 領土忠徳 財祝の | 塩川郡で 用で間に合はす

|地川郡で五名記八十名の江阪並行||郡で三十五名、神山郡で四十名、| すべく各都で募集中のところE.州

離列車で本府際国に引撃さがあり九日午後零時卅八分

大邱寫友會 出品を審査

も五月末までには竣工し 一大師」為友館では八日午後七時 から東室町鈴木以方で月開館を

大町】関北の等側、殿楽雨杉民

發日決る

北鮮行移民

明催したが出席者は廿名で持番出 助、製造の結果左記の 時列時で移住地に途られることと出趣日程は左副の通り決定、各跡

、同難準向け同百 育事的け労働移民 自五百五十人名▲ 自一五百五十人名▲

民四十一戸二百五、造城郡の咸南思

松島遊園會

釜山府立學校 豫算執行協議

数支縄と自計出的につき打合せを 學校長を指集して各學校の所要經 【釜山】本年度の陳弥派行に関し 田府では八日午後一時から府内

進呈

日海州で巡迴講はと映陶者を別組のと映陶者を別組のといいでは、一十八一一清州」三笠職保存者では二十八一 映畵會

本館へ註文あれても類り強は駄目ですから他の店へ、文はでも類似像は駄目ですから他の店へ、文は、税別な全額の栗店にて収賞す、品切れの際

本

本籍。 宮一九 善進 進 堂大阪五七番 大阪市東區南久爾寺町堺師

として観光要託部の加州大佐が来し 一年後七時四十五分帶列車宣音小村大邱和務監督局鑑定課長十 (慶北産業部長) 八日 勮



ら永同公立習迹學能離組合では十八一 で開催を開催を開催を の講演資を開催という。 部場でる問題





中央埋築面置大萬七 をあげ終つで午後一 の削縮を配摘した、脚工事 一里一合侧满排水溝七坪艘岸越長九百九 今後も擴充に努力 てたく峻成

忠北地方の豪雨 一年振りで河川は氾濫し 各地心交通禍續出

中、同曲から問題の来ないもの又

ものはこの医・至急間項署に申

即から連日にわたり部館思載賣を「宝山」府教育第二部館では数日

四合したが、協職の内容は職、四日も正午から引討さ同職

北支視察團

廿五日出發

衛生映畵班

思問道路も報恩那内北面駐在所削り俗民の注意を映起してあるが、 濫して地馬の交通中総し渉州、報 では必死の防退陣を作くことにな 思州間道路も内男手前の河川が泥・陰にも患者が健生したので仁川思州間道路も内男手前の河川が泥・陰にも患者が健生したので仁川 が開稿性語したため聴念説像。在正日程で配度を一層に爬行する

三萬陪民道現地關係各郡民の 如符した韓橋の塑設工扉及新潟 は明華六十五ミ郎は飛交道上劃別的事業とし に放使に堪へない、我が馬山港 用をなぎず九日展多年の懸案であり馬山貿易 式を懸行するに至つたことは該 用をなぎず九日度の中の野家であり馬山政場 は東京では、東山か繁く中央側梁上郭の建工 尺の増水となっの日を迎へて宇野店尹は次の 切待した韓橋の塑設工扉及新潟 は明華六十五ミの日を迎へて宇野店尹は次の 切待した韓橋の塑設工扉及新潟 は明華六十五ミの日を迎へて宇野店尹は次の

相五年四月の九三、七ミリに次ぐ

(年來の記録であるが、この大雨

この上なき喜び

一を加して徒歩連縮をなしてある、ことに決定した、昨年は常内に二

その反面、早京と原窓で不作をは、十餘名の思義が出たので、健康都

能内各地に選生、職族京城、 江川」春を観測にする天然層が 仁川の種痘

|観的観測を著しく総和された形で「蔚々に発力を注しである(基準内「総関連以来、地山、鏡川方面へ道・測されてあた繁作には大助りで起、南雅殿を目指すに削さな「砂天然」 一窓村に過ぎなかつたが朝鶴恵北 の側面が無数する等地理解に激まする交通の関地をなし間方面から れて急波な遊館膨脹を遂げ、面部 合號は突突節、消防組、米数問組合称所、駐在所、駐在所、即便所、短草排作組 【薦州】柳山郡督坪面曾坪里里は

道總〈解請

殉職警官感想文

|看他一萬一千餘坪の二十年とな| 校野地質牧に購し幽巌の結果、 一時から所愿で委員會を崩さ中、志家に苦衷を披露して難觸を切り のは翠葉を打切り府外内地人の風

韓部委員に於て交渉することにな、日道當局と坂田新伊校長と打合せ 飲心に訴へ罵志の寄附を仰ぐべくと同時に継行する響であつたが九一 つてゐるのでこの際所有地生の戦ー馬山中聖校朋校式は十十日始業式 たが、厨では膨脹地をなるべく

【清州】 思北道内に於ける昨秋播 | 路別成館に倣ひ安東 | 義城 - 蔣路 忠北道の對策成る 軍威等の各郡と早職して突成に西

風圏の新領社を設立することにな

れんとするに至った

租眼小校で

務等直接部長が風酷の密 一般、の八ヶ色で耐能等層に続きま、 三頭連が言を左右に托上委員連を

【釜山」新任の鼠神野群郡司令官が態援に出てゐるが、難色あるも

永久に保存

井上中將釜山へ

社を合同せしめ 資本金 百五十 一部をも含めて思南金殿に伸張さ

た、これは第一次の合同であつ

洛東江の大砂防

【仁川】 歴史小県校では美國のイ トン公學校の卒業生が机や壁に

下心に同一資本系統に置する平澤

同の前提で南側鮮電気質性の階級

京畿道にまで翼を伸ばす南鮮電氣

で新會社設立

別續き第二次合同を計畫

動すること、なり、目下甘

《社里二宗 敬何則、曹麗 [构些] 道總へ與清

續線期成會 安東浦項接

刑器代官を開催和合事布所に於てな願組合では十一

等は同面の中央

80

俎

本と雑誌

公設市場 釜山の賣上 変がきため間山下から六、七町沿部は八岐山下なる 類地で却つて不

地方調長院に発動内かる長を近映すべきだとの建則で金額「外大路は七日午後直路に定本るの代表路は七日午後直路に定本 た尺山里は荷州美江銀道路にも

鐵道警備演習 長期の一長期の一

目錄進呈 泉

學校約人

的新氣開業

(A)

「清州」 低級、忠北迎でし、 ・ 江原建東海洋水系統總金工事 名、江原建東海洋水系統總金工事 ・ 15年日五十名の京總市を並近

について御不能の版は次部で麻しくお数へ扱します。どう能に滅してゐるか?…お迷ひのことゝ賜ひます。どう能に滅してゐるか?…お迷ひのことゝ賜ひます。どう コシケ・婦人病には

仲がよくなる名薬子質に恵まれ夫婦

秘密で安全な療法

かける後端しは今年は解水が運れ「後に多門を極めてゐるが、今年の「新穀州」國境に投獄の芽を吹き「初切となる見込みで目下山元は編 のろい景氣の芽 **今年は廿日も遅延**

たため例年より二十日も遅く五月|民間流筏量は國有林の拂下六十五|【宮山】例年四,五の南月には山|

匪賊挾撃の新戦 これなくして掃蕩の策なしとし 併行的警備擴充を要望

無智の罪

洲側では醍醐の低機関であり出しで顕定しようと無風に纏がる背後

べき緊急施設として朝鮮側で 、中であるが、先づ第一番に治 目下解除江の平和仏について

州人政の増加と武器の憲元。

して一切の對應概はいかに頭餅側

「北青」既報一島東門外的近に牛 北青を騒がす 人妻の死産兒

かつたため明治場所に追奪したも 断爲と傾明、犯人は「四百里宝七 理罪方を動んだが當時地下は三尺 ナ 同里全菜に金一個で共一盤地に 八季時明(假台)の実館氏(ご)で

新義州署長等の肝煎りで

思げんとするもので多大の脚符を

灯火揭

春川稅務署

五分五厘增加

| 「いっと | 10 を | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 1 と | 者教所のためにこんど新義州圏に いる特殊な地理的關係から新義州 ので長谷川討法主世は近く初音順 く更生含が生れるのを待つてゐるンと一千五百圓を添励、一日も早 犯罪者があるのでこれをなんとか 附近に管央舎を理説、認初は細造 現在百七名の否邊の無い少年 もつて迎へられてゐる 少年育英含生る

調査を行ったが聞くところによる。れそれらの比較調査を行ったもの 殿の趣察を終へて八日来城、職々「丘川、元山、利戦」城継が撃げら战酷権展務、木村常務は元山、利「力なる候補地として目下のところ 城津】日本島尚豊里工業株式館(億分の使命を帯びてをりこれが有 ど 一人則の木工 技術者として 自 の木工技術を数へて社館的にも発 十名内外であるが將来は木工部も とになった、歴初の入會人員は三 年に明るい更生の灯火を掲げるこ 術を傳播して幅い身寄りのない少 城世』の問題版り、登嗣支客の調

りの機能五台を入れ郷、門標、 定時間的後と制限されてゐる 至つたがその質地がは六月の開心は地と順定的のものと見られるに 【成興】朝鮮信託成興支店の設置 朝鮮信託の 咸興進出

江陵に商業學校

一倍以上の大理選である。

惠山守備隊

記録的な数字を示し則年問期

と今回の來北は『岩談遊院補地下』と見られてゐる

期成會を組織して猛運動

一教育拠光制型が完了して第二期間望であったが、本層の第一即初等 便かに

乙唯の

農業學校が一校ある 目的の貫徹を誓ふ

元

農共勵組合

し、各別性が参加して素人演奏的 し、各別性が参加して素人演奏的

は意度で臨大た軍院高程式を懸行

【悪山器】來る十九日肚尿破與七

連轉者ご用心 ダットサン等にも

歌の歴、ダフトサン、リヤカー沿 が運興が昨に五十銭の手費料を 響の出来たオートバイ、ローラー は料料といく厳しいものである 地別が欧正されて従来無認許で迎 役 一百周以下の副を持つである。 おづり は料料といく厳しいものである 気の養だ、副興は三月以下の副 は利料といく厳しいものである。 おけい 原体会替的では **発許證が要ります**

十尺緒と見られてゐる | 水院上につき種々思議を交す 世外郡で力瘤

江原道自慢の 四十名を選拔して 十三日入所式舉行

| のでは、「おいれば、「おいれば、「おいれば、「おいれば、「おいれば、「おいれば、「おいれば、「おいれば、「おいれば、「ないれば、「おいれば、「おいれば、「おいれば、「おいれば、「おいれば、「おいれば、 世事に追はるな仕事を追へ」をモ 新設された江泉道女子勝雪所で「多勝人した小學校では今年第一回春川】 殴け婦人の指導機關とし、〈空館中、なほ昨年間山麓に林野 トーに側に向上、型に努力、夕に のが同所で訓練を受ける婦人は

「食物」国ではかれて市街の條化

街の緑化

の厚さ 水

館ではこの極本桁後援の下に左記

定であるが趙々他の殺蹤道路も ・ 十日ごろから極勝に取りかいる歌

三、等保存會

| 西那形所襲上に開闢、四千百八 氏子調代及び委員の融合は七日安

□ 1 日 □ 次郎、洪留華、宋 1 正 □ 、山田 □ 市 (源代長) □ 元 超 二 郎、山田 □ 市 (源代長) □ 元 次郎、小田市次郎、洪國寧、禄郎、金定臨、竜立四郎、佐伯政郎、金定臨、竜立四郎、佐伯政郎、佐伯政 一だけが五名であつたのを内鮮人士 六個を決定したがこの内には表察 ある、なほ職上衛來提代は内地人 道地修設の二十三百圓が含まれて

富山市主催の日満産業博で

ホームスパン質演

わたる四嬢

高麗青年會活躍

動員で南山を敷に衝闘を貨施すべ、四月十一日金月本草在織別運動会を十九月を顧問日と定め、官民總【開版】鳥親青年實では同源内で「元郎書」4、至7、8日

た、これは最も弱く間税を納める便か五分五厘の増加に過ぎなかつ

「茂山」管林署及び郡監督では来

春川邑内土木前員業者の業態不振 茂山の植樹

に一週間を修養、衛生、奉仕、 上等の各目に分けてゐる 腰に就くのが目跳となつてをりな 唇語・一般語の獣鷲を捧げて十時 歌曲の生活を送るもので即ち朝は 日結門帳及び修遊があり最後に皇 ら一時間所内の美化作業、器間 語操、訓煉歌合唱を行ひ、六時時半起床後州分間息居造拜、國 質料で夜は七時から作業、訓話

解と類似局間の目抜き通りから着似もあるので先つ玄陽道路である が許に値を現在の製風食な市町に 「一」 温山線上木倉島ではこれば今年の一部に値を現在の製風食な市町に 「一」 温山線上木倉島ではこを認識してゐたが忘と近く耶。 警 [-] 温山線上木倉島ではこを認識してゐたが忘と近く耶。 風域を添へるととなった。距費網

冬の厳慰を物語つてゐる

厚さは三米五〇で昭和六年の一米

三〇に比べると一米二〇も厚く今

日井野 位手に引率されて海路を出 組みで一家四人揃って発許を受け

せる明れの総上は郡常局で旅館中 [日井里]以手に引起されて海路を出 組みで一家風人輸つて発術を受名産ホームスペンの製練質調を記 部川下温の優秀戦都圧で来る十六 一部に何人でも守支ない傾利な名産ホームスペンの製練質調を記 部川下温の優秀戦都圧で来る十六 一部に何人でも守支ない傾利な 玉(二),申傾風(上)、金萬貫(こ)

申伽風でし、金萬葉でし 織婦の志願洪水 警官の奥さんまで

百分じと志顧器の大席に轍塞する。率異型が六人に一人とあつて正に百分じと志顧器の大席に轍塞する。 顕純誠を行つて郷地する部で郷間信という微速させないままの観さ 解も重確らつてゐるが十六日に日信という微速させない。 ホームスパン王國の珍量――劉昭。女子さんの地歌が展開されてゐる J. ないの権利を終やして足成の激、十名を魅了見込みでい那颗の影化「實験」後しい半と華麗な概念に、切の十五月までには優に百ご、三 馳せ参ずる賑はひ

くも定理二十名を突破して称七十四各地から聴勢者職出し、昨今早 郷語芸の羊毛加工場では目下本年 これら参岐の娘さんに加はつて健 に認識してある 高等)松本宮義(衛生)

の均敷能でを耐て職可申請中であり、五月中部以後の配込み、動意が庭院難となり自下期に一職、五月中部以後の配込み、い歌にの自家服トラック一様では、れに留ることに決定し、い歌にの自家服トラック一様では、れに留ることに決定し

第めてゐるが最近事業の擴充に伴 海朝鮮人民館聯合資金直接手が | 歴版資準を行び山陸生河の南よに | して来たが本年から新原歴在の登|| 慶次 電船の担証断入、生産物の共 | によつて咸南の歓産技術成が貨庫

れに留ることに決定した、質励は

る金氏・党

生し、生物、防止射 (成果)成果到最長自蘇在住の領。第二班に西鮮を十二面以内 等人所有電牛に対する牛は地研社。「中の親発者を除き二班に 等人所有電牛に対する牛は地研社。「中の親発者を除き二班に 野は能表皮自胃質解人配額の監控」することになった

·本入 (男子歷性及確別) 本入(鎌 昉 用) 2日 本入(用于製作尚貨用) 發 置 元 **天蚻入、病院用あり)** 友 Ħ H かいい 〇円七五 OOE OME 本機以本町 1E00

H 資 080

犯す毎に、尿道粘膜の側面に潜伏せる淋菌は、ことに生活・療より初夏への時候の變り目、或は飲酒其他の不排生を の、及び既に再發せる患者に對しては、速かにウラルゴール る苦痛を患者に與ふるが通例なり。故に再發の兆候あるも 力を復活し、再び繁殖して旺盛となり、越染當初に劣らさ 容より初夏への時候の**雙**り目、 症

性の 新

の短管十本入或は中管十本入を使用して再發を防止せよ!

しかるにウラルゴールは敷ケ月、或は敷年、十敷年にわた 面にあるにあらすして、

尿道粘膜の側管を

皺食し、

潜在し る慢性淋疾をも、治療し得る最も理想的の新薬である。 の慢性淋疾を根本的に全治するは極めて至難の業である。 つつある。故に内服築、或は洗滌、注入、注射難等にて此 慢性症に移行したのである。この慢性淋菌は尿道粘膜の表 淋疾は感染後、一二ケ月を經過して全治せされば、既に

尿道内の淋菌を死滅せより 然らざれば淋疾は根本的に全治せず

低か数分である。断くの如き療法にては、 のために直ちに外部へ流出し、其の作用は一回 銀獨溶液を尿道的へ注入するも、内容が水溶液 は、到底短期間に撲滅する事は不可能である。 之に對し内服薬を服用し、 細胞組織内に潜在繁殖しつよある頑強なる淋漓 に清掃するに過ぎない。また、推練、往人等の させるも其の作用は、尿道粘膜の表面を一時的 死滅することが絶難的に必要である。しかるに の冰班を生活するには、康治内の淋漓 尿と共に尿道を道過

此の粉末は直ちに溶解する所の管中

徐々に洛弥、高淵しつい、敷時期にわたり投通等かる部分におで、平等に分布的電し浜のままで、平等に分布的電し浜のままに治療し、内容の粉末は尿道部膜の強に入れてある。故に之を展道へ様入すれば、外 膜深透性に常む色素斑とを、化學的に結合して ウラルゴールは製織力強き特殊の銀剤と、粘

使用すれば、初感染は勿論の事、たとへ慢性確 **效果を奏するに到る。** 治の淋疾と雖も、從來の期品に見ざる無くべき

投塵作用拵觸時間──── 使用に要する時間─── 治際に乗する本數─── 次に中醫十本入を使用すべし。悪性か或は數普頭の慢性及び再發は、最初に短醫十本入を Ē 附 に長續十本人を使用して台景(手・問年にわたる園疾優性症は短管、4、問年にわたる園疾優性症は短管、4、 - 三時間より六時間- 「回値か二、三分- 一日一本或は二本

英米佛製法專賣特許

変勝者博士の

九月十日に決定し

じるとともに、一切江岸壁域の際。常島の欧洋的指轄による間種的共り入って 野藪の 蹇聊を 承報ならし、たもので、この雰囲質が到前沿圏 | 野球江を挟んで呼吸の避難日を | 間進出が登場されてゐる

いよ配後の結論に到着するに至っ

で紹う整備電話の新設が歴史され に宝つた、即ちこの緊急施設に

府民總立して祝ふ

な革新の必要に迫られるに至つた。神術が独立されたのを機能に本年(九月十日に決定した、なほ間景処を突続として関境整備陣に駆撃値、より大手町人塾節館の西隣に人器・疫債単項を閣談した結果、祭日をを突続として関境整備陣に駆逐が楔)「関域)所では繁素組合の批説に「総総各町総代・管照行逐ら編まり 胃証長をはじめ段節が似面誾 行することになつたので、人塞鵬 動膿所の摂原主態で、俯瞰、敬尊と認めでは古川警察節長、安)度から半中行事として人塞奈を縁 は簒奪組合、人華間窘組合、商丁

- 鑑は五千三百八十九國(物紙人)殿の切年が或は福淵から親は菲均【譽川】税務署の今年度營業院副 (は身寄りのない十歳から十七、八 春川」配が署の今年度登集記測

候補地を下檢分

15

と城津、躍進

名の観問が興まつてゐるほどで縮一

なんと前年同期の二倍以上

三月中の貿易二百萬圓突破

日本重工業専務ら

兀山城津等を視察



下癒を望むな まづ病因を精 なければならな

弛緩を癒し、分泌及蠕動異常を整へさる限り、過剰胃酸を吸收便秘あるを思ければならない。隨つて、胃膨粘膜の炎症、糜爛のか、單に胃酸過多と言ひ、消化不良と謂ふも、その症狀の塵歎するまへに、何故、それら病症の原因を除去しやうこしない歎するまへに、何故、それら病症の原因を除去しやうこしない まここに迂遠と言はざるを得ない。 強化を以て治癒に導かんこする如き消極的な手段は、 期し得ないのは當然である。況して、榮養劑による胃腸 がやけるこ言つては制酸剤を服む、それで一時を樹塗上 ほど危險なものはない。胃が悪いこ言つては消化劑を服み、胸複雑な胃腸障碍の禍因をも究めないで、無批判的な樂劑の亂用 し、不消化物を酵素劑の補助に俟つ如き偏頗な治療法に 居られるたらうか?「胃腸病は治り難い!再發しやす ならよろしい。たが、その次に來る胃潰瘍に、胃癌に無關心で この場へ いくさ 萬全を 得る間

動を助成する。從つて痼疾の胃膓疾患をもよく好轉せ 及蠕動異常を整へる等敏活なる病原治療を營み、併て胃痛腹痛癔面に沈着して炎症を癒し、粘膜を强め、弛緩を引き締め分泌乃ちアイフは病原、對症二重の作用を兼ね、主薬が胃膓內壁の 下痢、嘔吐、食慾不振等諸症狀を消退して全機能の健全なる活 める。

町之西谷水清區東市阪大

順 和 舖本賣發

香三〇〇五·二〇〇五·〇〇〇五(東)語電 省五四三阪大替振 地番九町砂浜區 88本市京東 三〇一〇四(川行小)話電 番八八二二六京東部 京東 目 丁 一 通 縣 山 市 連 大 義八〇六七話電 番五六七三連大衛福 連大

價-藥. (未粉) フィアはに病雨の勝ミ胃 图 三 分日七十 競五十七 分日四 图 五 分日一十製幣 競十五國一 分日八 (際記)フイア胃健はに門専病胃

一 入能十六百] 鳍 十 五 入配五十七 ▶りあに店職名有の財る到賦金4

ンペンにまで身をやつして

章記勞功察管

熙殊る語物が

際謀を喰止めた偉功、

等の搬き張りは、舎ての思想膨胀一歩を踏み出したので、しかも彼

への情熱を今の離場に挙げてゐる

東宝川町部布高等女學校長として 特進文部 東京市世田谷區

登儀をやり後、水脈答に

俗納庫の惱み

過収來各道では限付振興計畫を子

六萬圓は誰れが出す

は非常にむつかしい、しかし

有志の温い共鳴下に生まれた昭道

を纏め融音点を定置するお賞を開 したが、歌騰子を思ふ人々が那麽 したが、歌騰子を思ふ人々が那麽 徳を驀つて盛んなる出迎 して敬仰することになりませらの朝鮮を育てて來た様大な人と

章のついた立派なり舞子でに納め

(温真は第二の故郷豆域に岩と活衣に選を召んで配つてゐた

安徳進、老敬敬。 岩道一、「如中大民、小会丸。」 岩道一、「如中大民、小会丸。」 海郎、古振遠、天ヶ瀬安彦、東西 海郎、王原梁一、勝田夕彦、東西 一、「雅田本民、小会丸。」 一、「雅田本民、一、 一、「雅田本民、一、 一、「本田本」、 一、「本田本」、 一、「本田本」、 一、「本田本」、 一、「本田本」、 一、「本田本」、 一、「本田本」、 「本田本」、 一、「本田本」、 「本田本」、 「本田本、 一、「本田本」、 「本田本、 「

本府で來年から長期講習

壁を納め、朝鮮の守護師とする智

京畿道の昭道會を通じて

恥暇や復校のうれしい話は相次ぐ

開放することいなった、

酒をつける程度とし二ヶ月 の問習を行ふことくなつて

中盛官更生養成

戰心快勝

特別拿贝

呈贈品供試第外越申副人說名間新此②

られてゐたので、局では廖原を訓

振興運動に

後四時三十五分京城一日別盟城が門との

つこり京城へ

聖林の美容師

家を晋母士Wよく果敢なター前半1早大の爆弾的はTB



病父の許にかけつく

出所許さる

明む) 時患り けぶの天氣

チオ

された

トゲン科紫外線小兒科

田

賈賈

市本二八八〇 山市本二八八〇 山





料金不要

年金 特別立替

準セクショナル書架樂器の新案特許は是非! 設置

酒鉛 Š 疆 脐 梅





(Extension control of the control o

ひれの語

言物産権今塩井醫院 第二日塩井醫院 學型小材 荣三

店

門 局 小泉科 大河 院里 中 島 貞 信息 高麗 南野 門 島 小泉科 大河 院

阿爾院主

ホガラカ

第門 柴田毛糸店 東城府本町四丁目 東城府本町四丁目

が問む

海沙

商げ

會

※ 京日案内

合 ○外務社員採用 財内外に関連さる・干五級以上 日本の場合の野外の場合の野人の野大の サカ電者は関連法等平人来観る りた日と伊部人の男子 りた日と伊部人の男子

共濟無器株式會社原城府本等可以自成治五書地

他次はすなほに貼頭いた。施し

「御尤です。其の事も考へないだ

「売畑と申しますと?」

疑問他次の頭に、野上の言葉が

「此の曲点なかなかを頒だ。」

声であの道では、相當通でとほつ

十一日番組

たにも、あなだがたの愛の散を燃 ですよ。 勝かにして下さい。 私はしょ、 とがあるでせら。 それに以、 京郷 とがあるでせら。 それに以、 京郷 とがあるでせら。 それに以、 京郷

食地はかう言って、誰かに維次。ふことを知らなかつたものですか

にいあなたといふ変人があるとい

世 同七時二〇分(東)ラデュ帝操
同七時四〇分 今日の天氣見込
同九時二五分溪泉通歌、科理献立
同九時二五分溪泉通歌、科理献立

| 1 日本 | 1 日本

叩いた。考慮外な方面に手を出し一四歩と

2 「八歩と利かし同番と取らして、」ならどうすれや良いのか、と言ったのだっないのが、と言ったいのが、と言ったいのが、と言いいのが、と言いいのが、と言いいのが、と言いいのが、 ってゐる

がもう少し攻め味を出して六五桂は作戦であるかも知

後金 易二郎

出人商人のみたが豊めるお米の庭」もして、東京の本語には、た戦にされることも、自年、小年及報業展系、繁美と言った機な沸さありまして、地上、自年、小年及報業展系、繁美とは、文麿家から申しまして、地

銀

いると形の割合に結果が充分でな、こあります。本日膨動点を目に當いるとい。 一馬、問暴破、しかし二人角と受けら、最大を占めて居るものであるからめたい機、しかし二人角と受けら、最大を占めて居るものであるからめたい機、しかし、一人時、間表、人、して比での生産額につきましても論のある手で、一人時、間表、人、して比での生産額につきましても論のある生産数でありました。 一人は、別条側に魔分が、一人は、別条側に魔分が、一人は、別条側に魔分が、一人は、別条の割合には、別条の割合には、一切を対して、一人に、

極めて極々様々の業態を示して居

方だ、といつて貼の一四歩が大型。左上寸非常に変異があると鑑しま、東、着すどと云つれ心間いばかりの名者で、まなは間じだとは申されませぬのみ、大連遺行、大幅の研究から判断してまだま、歴は間じだとは申されませぬのみ、大連遺行

りまして気に所懐の一端を申し遠

本紙一萬號記念三千團懸賞一等當選

禁無斷上演映齒

3 第 りー朝鮮氏満一、サバルカ 同一〇時 鮮波交換収益(京城より同一〇時 鮮波交換収益(京城より同九時(東)獅唱 三浦 類 n

威海衛、芝栗、大連行 威海衛、芝罘、大連行 財通監 四紀 田上年 勝訳

嶋谷汽船株式會社

汽船形代理店

長崎、雁児島

た竹松のざん悔によつて月出度く

S重出机 代理店 國際延恢支店 三月卅一日

12 野口高會 12 野口高會

四月十六日 關 □ 四月十六日 關 □

鎮南浦、大連、天建行 經濟流

□ 四月十一日 第二届开丸 邢山客排 四月十一日 第二届开丸 邢山客排 四月十二日 第二集群丸 邢山客排 四月十二日 第二集群丸 邢山客排 四月十二日 第二大 700 和 邢山客排

大阪商船出机 301101 野菜 (田海路回出)

曾我廼家五郎一座

部地の岩部

昭和の清蔵 宣傳の爲めの大贈賞

代理店

国福光 四月六 日 四月七 日 町 木 阪神 町 木 阪神

大阪商船株式資料に川代理店大阪商船株式資産設置・一一番(新出)

北鮮福船川三衛 第三 八香

#|講||演||午||十時半 農會の使命

大型汽船株式商业代理店具的经济 | 「一大学屋」 |

九州郵船株式會社 電話代表報號一〇門的

珠 九 每日午後十一時出名 村田中四日十九日午後二時出名 十九日中四日十九日午後二時出名 一年和一左記(細雁會敢下度族 一年和一左記(細雁會敢下度族 九州郵船輸出張所

外に一等、二等、三等の高價なる大賞品あり

り残ら

今こそ……

必要な仁丹の御買時!

京 東 訪 丸 月 日 中 鹿兒島、三角、長崎、博多石 東 辞 丸 月 日

十 (代理店母解演遊會也)
十 (川部田、九州各地行
ま (最深瀬順体館)
本 (新深瀬順体館)
本 (河原本町四丁目
日解汗海運床式入會社
ま (五原本町四丁目
日解汗海運体式入會社
ま (五原本町四丁目

大錠入(三)(銭)

宿醉等。 十二指腸潰瘍, 胃痙攣、胃潰瘍 譚痛、胃カタル

> NDRMOSA MACA NATURE

頭のぐるいは?

36-403(0)

担三百メ

計會式称コリグ

(適應症) **液分泌過多症、**胃酸過多症、胃

と鏡揃の効果を砂がします。と鏡揃の効果を砂がします。 塩化アルミニウムとに分解し 珪酸は余分の酸を吸收し、塩化ア 木に附近と中和してはやには、部に對する冒酸の刺戟を進り

阿本市京東 店商衛兵新西小 謎 店理代東關

過 のみ過ぎ等に登します。胡椒等の刺戟食、酒やたばこの 氣で、原因には色々ありますが剰なため胃酸の量が多くなる病胃酸過多症とは胃液の分泌が過 一般に消化の惡い食物、山葵、

ぎ 液分泌を促進する缺点があります 許りでなく、後作用を伴ひ再び胃 來た…重舊及その配合劑… には、治療の根本たる胃液 の過剰分泌抑制作用がない

制酸・鎮痛効果

可信当區東市區大 店商衛兵長田武 懿 元實發造製

光ず胃壁の粘膜を被覆保護して思 ウムの特質作用によるものではその主成分をなす建酸でルミ

した命々に珪酸と